

新潟市の平成29年度地域密着型サービス指定候補事業者の 公募が始まりました。選定に向かってまっしぐらです。

昨年11月5日に地域住民の皆様への説明会を開催し、「社会福祉法人けやき福祉会」設立準備会を発足してから、あっという間に1年が経ちました。

この間に準備会として様々な取り組みをしてきました。地域の皆様への啓発活動としてバザーや講演会、コンサートに学習会を重ね、また地域の五十嵐中学校区や近隣の小学校区のコミュニティ協議会への説明会を実施してきました。

けやき福祉会の役員も決まり、地域住民を中心に公募に応募するための設計や申請書類づくりを進めています。

日々会議を重ねて会員の皆様に情報を提供し、共有してきました。また、市役所、保健所、消防署等の関係部署との事前協議も重ねています。

公募の締切りは12月22日です。なぜ、住民が主体となって地域福祉の拠点になる施設を作ろうとしているのか、私たちの想いを伝え、理解していただくために、そして事業者として選定されるように、精一杯できるだけの努力をしています。

なお選定結果の発表は、来年2月中旬頃の予定です。

代表 会田 きよみ

■公募申請書類の一つ「運営理念」から

「社会福祉法人けやき福祉会」運営理念

- 1) 住み慣れた地域で、人生を全うできるもう一つの「我が家」であることを目指します。
- 2) ご利用者のこれまでの生き方を大切にして、尊厳と権利を守り、これからの暮らしを支えます。
- 3) 施設は地域の福祉拠点であり、「暮らす人」、「通う人」、「ささえる人」、「集う人」と共にお互いを思いやる気持ちを育みます。

「本事業の運営理念」

- 1) 地域密着型特別養護老人ホームと小規模多機能型居宅介護事業を併設運営することで、地域包括ケアシステムを推進していくための「地域福祉拠点」としての大きな役割を担っていきます。地域や職員等の馴染みの人たちとの関りを保ち、ご利用者のご家族の安心につなげます。
- 2) 地域の方々が、気軽に立ち寄って施設を利用することができ、また各種相談会や自主的な活動による介護予防対策等の講演会や子ども達とご利用者のふれあい、地域の方々と一緒に祭りを楽しむ等、地域貢献、多世代交流、地域交流を行います。
- 3) 施設が単なる特別養護老人ホームではなく、ご利用者やご家族が生活や暮らしに生きがいを感じ、第二の我が家として「近くにあったよかった」と思える環境づくりを目指します。

〈地域の皆様への説明会開催のご案内〉

12月～1月にかけて施設建設予定地周辺の地域住民の皆様に対する建設計画、事業内容等についての説明会開催を予定しています。

開催日程等につきましては改めてご案内いたします。会員の方で対象地域にお住いの皆様は、是非ご参加ください。

【説明会参加対象地域】

上新栄町1、2、3、4、5丁目、
寺尾北1丁目、2丁目、寺尾西5丁目、以上
のご住所にお住まいの方が説明会の参加対象者になりますので、ご参加をお待ちしています。
なお、この地域以外の方もご参加いただけます。
よろしくお願ひします。

タやけこどもけやき食堂

11月2日、赤塚のメイワサンピアで、西区社会福祉協議会主催の「にし、COMINET 2016」（異業種交流会）がありました。

〔イマドキの子ども事情〕のグループでは、主に中学生のライン（ネットでのメール）でのいじめが多数報告されました。

メールでのやりとりが、少しでも遅くなると「ラインはずし」で無視され、学校でもそれを引きずり、孤立していき、不登校になっていくという、かくれた「いじめ」が行われているそうです。

物をかくしたり、こわしたり目に見える暴力的な「いじめ」でないため、生徒のアンケートや教師からも「いじめはなかった」との結論が出されてしまう、との報告がありました。

一人で悩んでいる子どもに、SOSを発信してもらえる居場所としての「こども食堂」も必要かと考えさせられました。



みんなで作った
手作り餃子



新潟青陵大学「李在億」准教授のゼミ生10名参加。
いつもの学生さんスタッフも加わり、
子どもたちは動きが活発

名付け親が言う「こども食堂」は「こどもの食堂」ではない Part III

湯浅誠 | 社会活動家・法政大学教授 HPより

“こども食堂”の誕生”

あるとき、知り合いの小学校副校長から「給食以外は、毎日バナナ一本だけで過ごしている子どもがいる」という話を聞く。

何かできないかと考えているうちに1年半が経ち、その子は児童養護施設に入所してしまった。

その子に何もできなかったと思う中で、他にもいるはずのそうした子どもたちが安心して来られる食堂を開こうと思いつく。

ファミレスでも、子ども一人ではなかなか入りづらい。

地域の中に子どもが一人でも行ける場所は、案外少ない。

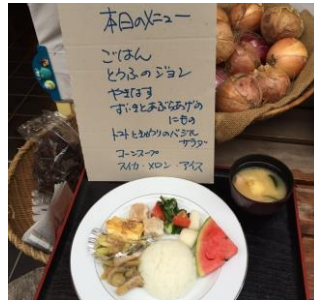
家庭と学校がその“場”にならない子どもは、世の中に居場所を見出しにくい。（私がかつて対談した小説家の重松清さんが「子どもはしらふで生きている。すごいよね」と言っていたのを思い出した）

ウチは子どもが来ても「お父さん、お母さんと一緒じゃないの？ どうしたの？ とは聞かないよ」。あなたが1人で来てもいい場所なんだよ。それで「こども食堂」。

すべてが、1つの会話から見えてきた1つのニーズから出発している。道端で立ち話しているうちに何かを思いついた、というように。

そしていつも、利用する本人たちに向けて「この場はあなたが来ていい、あなたを歓迎する場なんだよ」というネーミングをしている。

「こども食堂」という名前には、こうした経緯と思いが盛り込まれている。単に昔の地域コミュニティをなつかしむのではない。



昔には戻れない現在という地点において、未来へ向けて新たな“場”を創り出していこうという試みだ。
「1ミリでも進める」とはそういうことだろう。

多様で、雑多で、豊かな「こども食堂」

それはもう、今「こども食堂」と聞いて、人々がふつうにイメージするものとは違うかもしれない。

しかし、名付け親が、そのような“場”のイメージをもって「こども食堂」という言葉を使い始めたことは、覚えておいていい。

というのも「こども食堂」が急速に広まり、普及する中で、どうしても先駆者が込めた思いというのは、薄められていってしまうから。

そしてヘタをすると「どこか適当にマンションの一室でも借りて、子どもを集めて食事させれば補助金が出るんでしょ？」みたいな勘違いを生み出していくから。

そしてそのような勘違いが「こども食堂って、子どもをダシにして、自らの食い扶持を確保しようとするうさんくさい人たちがやってるんでしょ」といった無用の偏見と反発を生み出していくから。

万が一そうってしまったら、当の子どもたちに申し訳が立たないから。

「こども食堂」というネーミングがなければ、こども食堂がここまで広がることはなかっただろう。

「みんなの家」では、何をする場所かイメージがわからない。

しかし「こども食堂」は「こどもの食堂」ではない。もっと多様で、雑多で、豊かなものだ。

「こども食堂」の取組みを盛り立て、広げつつ、その理念も失わずにいたい。



以上で、湯浅誠さんの原稿転載は終了です。

11月17日、24日とけやき会の会議が開催されました。今回はその模様についてお知らせします。

17日は、公募の発表があってすぐの会議でしたので、公募の応募書類の内容や補助金について説明がありました。応募書類の文章関係については、申請書類作成チームで対応し、それ以外の事業計画や収支計画は八幡が担当することになりました。また、途中の段階ですが「応募の動機」「理念・基本方針」について読み上げて発表し、意見交換を行いました。

今回から選定方法が若干変更になり、けやき福祉会が計画している複合施設が以前に比べて選定されやすくなったとの報告もありました。

24日は、社会福祉法人設立の担当課である福祉監査課で事前協議を行った報告があり、設立認可申請は旧法ではなく来年4月に変更になる新法に基づいての認可申請の手続きになるとのことでした。時期としては年明け1月中に申請書類を提出することになります。また、新法に基づく評議員選任・解任委員会の人選の発表などもありました。

会議では、会員全体での情報の共有化や活発な議論等をおして、着々と準備が進んでいます。ご興味のある方は、ぜひご参加ください。お待ちしております。

12、1月の会員会議

開催日：12月 2日（金）、12月15日（木）
1月 6日（金）、 1月19日（木）

会 場： 上新栄町集会所

時 間： 午後7時から8時30分

※当日は会場費 200 円が必要です

※参加はご自由ですので、ご興味のある方、一緒に活動していただける方は、ぜひ一度ご参加下さい。なお、1月6日の会議は役員会を兼ねて開催します。

ゆうやけこどもけやき食

12月 1日 ポテトの肉巻きソテー、オムレツ他

12月27日 みんなで作るクリスマスケーキ、から揚げ他

1月 5日 みんなで作る夕食、カレーライス、サラダ

1月24日 ししゃものフライ、チャーハン他

会員の皆様の声

渡邊 信子さん

けやき会の活動には頭が下がります。ようやく出席できる機会が増えたので、事業の進捗度合いに、その努力に敬服しています。継続的に様々な会議、委員会を開きながらの協議により実現に向け最終局面を迎えています。

理念を追求していくこと、お互いに理解し合うことはとても難しいことだと思います。諦めずに話し合うことには、想いも時間も労力も必要になります。

一般的なビジネスの構築作業とは全く異質な手法で、今後の地域をつなぐ事業のモデルケースになるものだと考えています。

少子超高齢社会の中で、新たな「つながり」を作っていくことが急務です。「ささえ合う」「思い合う」気持ちを形にしていくプロセスが地域連携のモデルとなることは大いに期待できます。

「自分もいいけど、みんなもいい！」そんな社会を作っていきたいと思っています。

けやき会の皆様へ 山本 哲也さん

私は医療機器・介護機器の卸販売業をしております。(株)悠久堂医科器械店の山本と申します。

この度は、縁があり、けやき会の会議に参加させていただいております。

私のような若輩ものが、人生の先輩方と貴重な空間を共に過ごさせていただいており、光栄に感じております。

当社は新築施設の立ち上げを何件か、お手伝いさせて頂いた経験はございますが、設立段階からお客様のご意見を間近で聞いて、熱い思いを感じる事は初めての体験です。滅多に体験できることではありません、応募の動機を拝見することはありません。

施設設立時の見えない部分に触れ、心が熱くなっております。それと同時にけやき会様のニーズにマッチしたものを提案したい！！という気持ちも会を重ねるごとに強くなっております。私も西区の住人として、是非今回の高齢者総合生活支援施設「あい・いからしの郷」をオープンさせることを微力ながらお手伝いできればと思います。

そして、会田さんもおっしゃられている「第二のわが家」とご利用の方・ご家族が言っていただけるような施設になるよう願っております。

今後も皆様のお役に立つことができるよう、努めて参ります。

～編集後記～

寄付ご協力のお願い

■いよいよ師走ですね。けやき会も本格的な師走となりました。

私事で恐縮ではありますが、先日、母と一緒に父の入所施設に面会にいきました。行くたびに、柔和な笑顔になっていく父の表情に心から感謝しております。面会が昼食時間に延長してしまったときに、面会室に配膳してくださった職員さんの心配り、廊下にある毎月の施設での外出の際のよい表情の父の写真。私と母を見送るとき自室までの経路がわからなくなるのではと案じた私に対して、父の放った一言「ここは俺のうちだから」、など。どれもほろりとさせるエピソードがありました。

自宅で見ている父はこのような表情でいられたか自信はありません。

施設を作るのは容易でなく、まして理想な所という思いがあると歯がゆいこともたくさんあるでしょう。けれど会田さんたちが作ろうとしている施設は、きっと利用者さんにとって、暖かい居場所になれる施設になれるよう期待しています。 土屋 容子

■木々の綺麗な紅葉もそろそろ終わりを迎え、木枯らしが吹く季節となってきました。山の尾根には、すでに雪化粧が見られ始めています。皆様、タイヤ交換はすでにお済みでしょうか。

気付けば今年も師走となり、あっという間に一年が終わろうとしています。この一年、振り返ってみると、笑ったことも怒ったこともありました。応援しようと思った大切な人を逆に傷つけてしまい、後悔とともに深く反省したこともありました。失敗や間違いなんて、数えきれないくらいです。しかし自分なりにチャレンジしようとやってみた今年は、昨年よりも得るものが多かったと思います。あと1ヶ月、何を心得何を学んだのか少しずつ整理を始めながら、今年を締め括りたいと思います。

けやき福祉会は正念場を迎えています。無事に公募申請が通りますことを祈願しつつ、できることをやり続けたいと思います。

あと、先日ケアマネ試験の合格通知が届きました。

板垣 龍介

いよいよ新潟市の公募が発表され、その選定に向かって申請書類や建物設計図作成等の準備を行っています。

社会福祉法人を起ち上げるための条件である資金1億円達成に向けて、企業・団体様からもご寄付をいただいています。心より感謝申し上げます。

11月16日には、新潟西ライオンズクラブの皆様（6名）が、わざわざご来訪下さいました。

地域住民や地域外の方々からもご協力をいただき、「自分たちが利用する居場所を自らが作り出す」という共感の思いに心熱く、また心強く思います。

重ねて、引き続きご支援ご協力をいただきますようお願いいたしますとともに、一緒に目標達成に向けて共に歩いていきましょう。

◇呼びかけ人一同

寄付金振込口座

郵便局 口座番号：00580-0-102549
「社会福祉法人けやき会」設立準備会
代表 会田きよみ

第四銀行 小針支店

普通預金：口座番号 1345989
社会福祉法人けやき会設立準備会
代表 会田きよみ

※大光銀行、ろうきんでも受け付けております



新潟西ライオンズクラブの皆さんと一緒に

■先日、栃尾まで出来立ての油揚げが食べたくなったのでドライブがてら行ってきました。

栃尾に行く道すがら合格街道なる看板が目に入りました。見ると11月の第4日曜日に栃尾の来伝天神様で1年に1回の合格祈願祭があるとのことでした。

1年に1回の合格祈願、これも何かの縁と感じ、公募申請書類づくりに携わっている折から、選定も合格祈願の一種と思いお参りしてきました。とりあえず神頼みも終わり、あとは申請書類の中身の勝負です。

悔いのないように頑張ります。あっ油揚げもしっかり食してきました。あ〜うまかった。 八幡